

広報  
**しんじょう**

8  
2004

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.560

*ISO14001*

14年7月認証取得



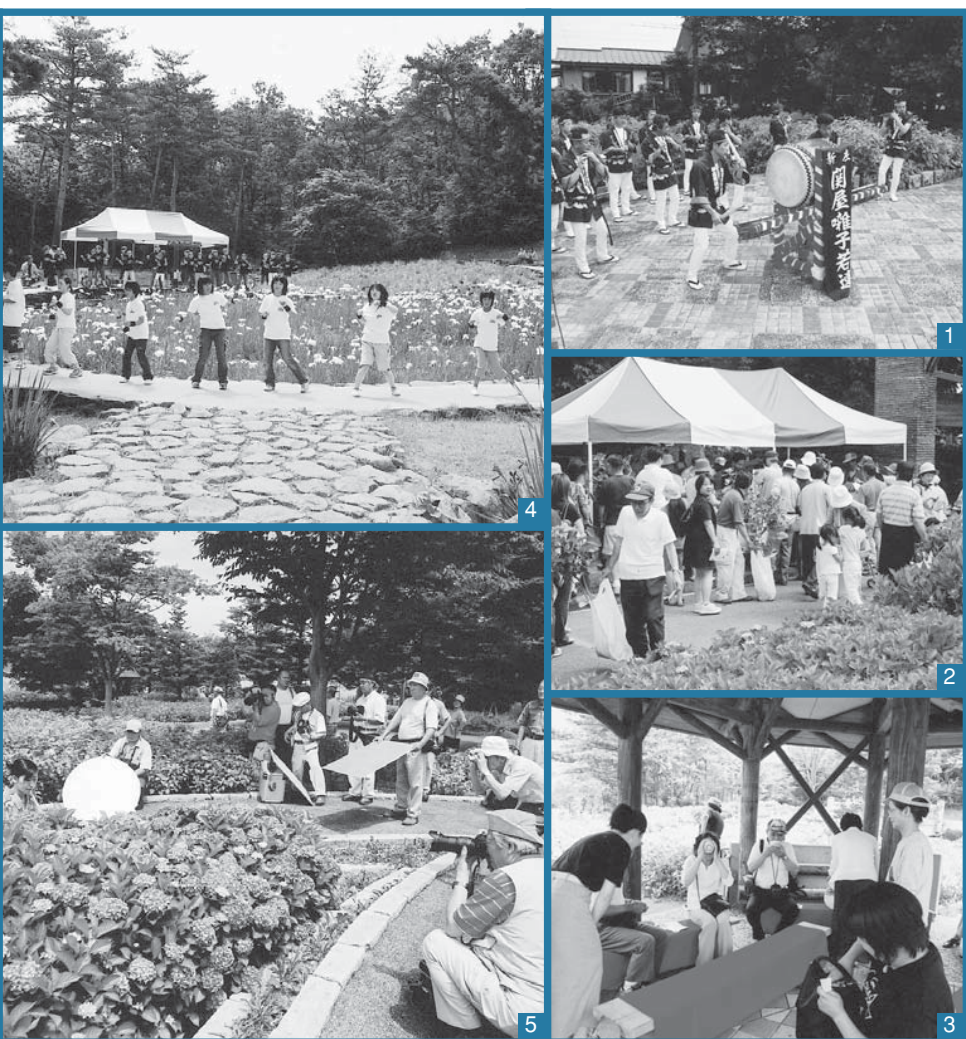
灯ろう流し(7月28日/升形川)

**アジサイを愛でる** .....2  
**財政再建計画を策定** .....4  
**合併協議会解散** .....7  
江戸だより/いきいき新庄人 .....9  
しんじょう見聞録 .....10  
8月のお知らせ .....12  
豊かな心をはぐくむ .....14



# アジサイを愛でる

厳しい自然に順応し、たくましい生命力を持つことから昭和五十九年に市の花に選ばれたアジサイ。花が咲き始めた「あじさいの杜」で、七月四日、「あじさいまつり」が開催されました。「あじさいを育てる会」が企画・運営し、多くの団体・市民が賛同・協力・参加する画期的な催しとなりました。



「あじさいを育てる会」は、昭和六十三年に、当時の青年会議所が中心となり市内の十五団体が参加して設立されました。

市の花・アジサイを広く知ってもらいたいという会員の熱意から、最上公園西側約一ヘクタールに、二万三千株のアジサイを植栽し、表示板の設置、毎年の施肥・草刈清掃など、あじさい広場（現在の最上公園・あじさい園）の造成に大きく貢献しました。

また、市民あじさい展・あじさい写生会・あじさい茶会・あじさい祭・あじさい生け花展・フォトコンテスト・句会など、アジサイに親しむ数多くの催しを行い、市内外に市の花・アジサイを広くアピールしてきました。

今回の「あじさいまつり」は九年

約2ヘクタールの広さに34種約4万5千株のアジサイが咲きそろう東山公園「あじさいの杜」



# あじさい いけばな展

新庄華道連盟が毎年主催している「あじさいいけばな展」は今年で9年目。来年は10年の節目を迎えます。今年は、「あじさいの杜」から早朝摘んできたアジサイを、会員が思い思いに趣向をこらした作品に仕上げ65点を展示。訪れた人々の目を楽しませました。



▲会場を飾る美しい作品  
(7月10日～11日/市民プラザ)



- ①オープニングを飾る関屋若連のまつり囃子
- ②協賛企業によるアジサイの苗木と絵はがきプレゼント
- ③新庄茶道連盟による野だて茶会
- ④表現サークル「ちゃれんこ」のダンス・パフォーマンス
- ⑤新庄写真連盟によるあじさい撮影会
- ⑥セラピー犬とふれあう「ふれあいワンワンパーク」に子どもたちも大喜び
- ⑦新庄チンドン団も会場を盛り上げる
- ⑧協賛企業による動く車体験乗車
- ⑨協賛企業による写真無料プリントサービス
- ⑩協賛企業提供によるクイズ・抽選会

ぶりですが、東山公園・あじさいの杜では初めての開催。あじさいを育てる会をはじめ、会を構成する各団体や、市民ボランティア、サークル、協賛企業など多くの市民の力が結集しての開催となりました。アジサイにまつわる多彩な催しに多くの人が訪れ、咲き競うアジサイの美しさを楽しみました。

## 生き生きとした地域に

あじさいを育てる会会長

永井敏行さん



「あじさいを育てる会」を発足十六年目の今年、これまでの

最上公園から東山公園あじさいの杜に会場を移し、「あじさいまつり」を開催しました。会と市、そして協賛企業、ボランティアなど、多くの方々の希望と支援により成功に導くことができました。

当日は晴天に恵まれ、千人以上の方々に来ていただき、仙台市や秋田県から観光バスで訪れた方々は、「こんな素敵なお場所があったんですね」と感動してくださいました。

今、新庄市では「協働型社会」を目指して行政・企業・市民が力を出し合い、より良い地域社会を生み出す取り組みが進められています。今回のようなイベントを通じて、さまざまなパートナーシップによる協働に、より近づくことができます。そして、互いに共感や信頼、尊敬を持って活動することで、生き生きとした地域を作り出すことができるのではないのでしょうか。

## 困難な状況を乗り越え健全財政を維持するために

# 財政再建計画を策定

広報4月号で、市財政の展望10カ年試算と財政健全化の推進方針についてお知らせしました。市は、国と地方をめぐる情勢などさまざまな要因の中で、かつてない厳しい財政状況にあるため、これまで続けてきた財政健全化対策をさらに強化した「財政再建計画」を策定しました。計画を遂行し、持続可能な財政運営を維持できるよう対策を進めていきます。

### ◆ 改革を徹底的に強化

市はこれまで、予算規模がピークに達した十一年度の「公債費負担適正化計画」策定以降、十四年度の「緊急財政対策」、十六年度から二十年度までの「財政健全化中期展望と改善対策」と、財政の健全化対策を進めてきました。

しかし、税収の減少や国の改革による地方交付税の削減、大規模事業・社会資本の整備に伴う公債費（借金）の増大などにより、収支のバランスが大きく崩れる危険性があります。

今後予測される赤字額は、十七年度から毎年十億円程度で、二十年度までの累積赤字は三十四億円にまでふくらみ、このままでは財政再建団体に転落してしまう恐れがあります。

そのため、これまでの対策をさらに徹底的に強化した「財政再建計画」を定めました。市民生活を守り、健全な財政運営を維持するため、十六年度から二十年度までの五年間、歳入確保と歳出削減の集中的な改革を進めます。

この計画の目標は、収支がつり合った健全な財政運営を維持していくことにあります。このため、職員一

人ひとりが、これまで以上に事業の成果について検証しながら事務事業の効率化を図り、一丸となって再建に向け取り組みます。

### ◆ 基本方針

#### 1. 基本的な考え方

まちづくりの基本指針である「第三次新庄市振興計画」に掲げる五つの基本目標と重点施策に基づき、事業を着実に推進しながら、本市行政改革大綱に定める「小さく、元気な市役所づくり」の実現を目指します。

計画期間は、十六年度から二十年度までの五カ年間ですが、国の「地方財政計画」や景気の動向、税収などに大きく左右されるため、適切な見直しを随時行いながら、長期的観点から改善を継続していきます。

#### 2. 基本戦略

これまでも、職員数や職員給与の削減、事務事業経費の削減など、内部管理費の削減に取り組んできましたが、さらに厳しいレベルで徹底した削減に取り組みます。

限られた職員や財源で最大の効果を発揮するため、事務事業の優先度、行政関与の妥当性を検証し、

表-1 財政再建目標額

17年度	8億5,900万円
18年度	9億4,500万円
19年度	9億4,200万円
20年度	6億8,700万円
合計	34億3,300万円

※一般会計で克服しなければならない収支不足額です。地方交付税は、今後も減少していくと推定していますが、国の計画などが明らかになった時点で見直しを行います。

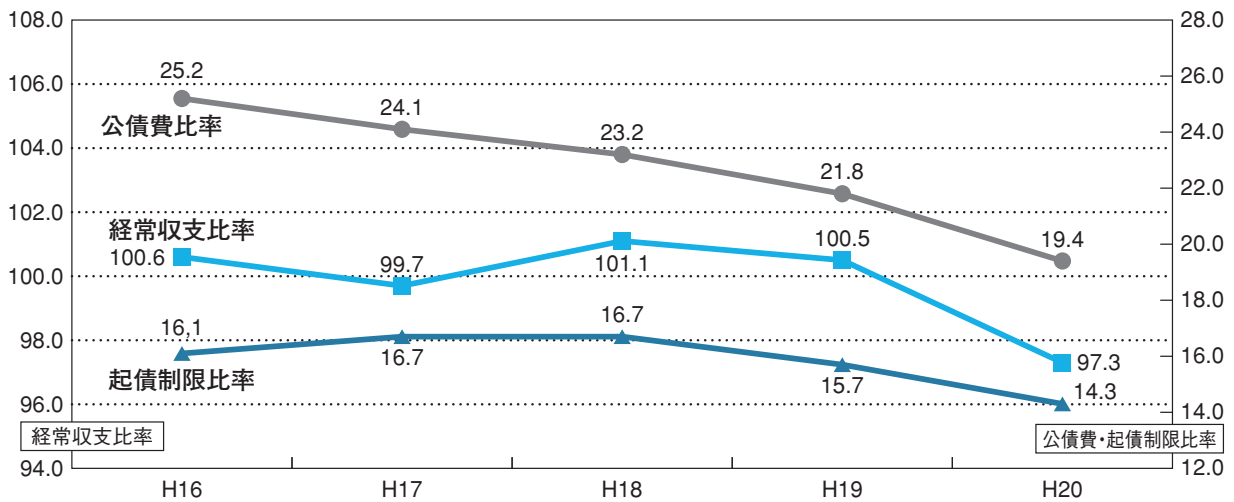
事業の成果に応じた見直しを行い、サービスの最適化を図ります。

また、単なる削減では危機を乗り切れません。サービスの担い手を原点から見直し、地域住民やボランティア、NPO（特定非営利団体）などの民間事業者によるサービス提供を支え、地域住民や民間事業者ができないサービスを市が行う協働のまちづくりを進めます。

#### 3. 財政再建の数値目標

計画期間における収支均衡を図るため、十七年度から二十年度までの改善対策額Ⅱ財政再建目標額

## 財政指標でみる今後の見通し



### ■ 経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が高いということは、自由に使えるお金が少ないことを意味します。70%から80%までが望ましいとされていますが、全国的にこの比率が高くなっています。新庄市では、18年度をピークとして、公債費や人件費の減少とともに、徐々に低下するものと見通しています。

### ■ 公債費比率

市債(借金)の元利償還金を公債費といい、公債費が一般財源に占める割合を公債費比率といいます。10%を超えないのが望ましいとされています。今は高い数値になっていますが、今後徐々に、公債費の減少とともに低下していくものと見通しています。

### ■ 起債制限比率

地方交付税という標準財政規模と公債費から、交付税措置された公債費分を除いて算出されます。20%を超えると市債の借入れが制限されます。望ましい値は13%以内とされています。新庄市は公債費負担適正化計画により、この比率の引き下げに取り組んでいます。

## ◆ 具体的な方針

### 1. 歳出削減対策

を三十四億三千三百万円とします。(表1参照)

#### ● 人件費の削減

- ① 市長、助役、収入役、教育長の期末手当(△77%、△31%)
- ② 議員の期末手当(△20%)
- ③ 管理職手当(△5%)
- ④ 一般職期末勤勉手当(△7.5%、△2.5%、△0.3%)
- ⑤ 各委員会の委員報酬(△3%)
- ⑥ 時間外勤務手当
- ⑦ 職員数(△40人)／新たな定員管理計画のもと十九年度まで職員の新規採用を原則停止
- ⑧ 早期退職制度を新設

#### ● 事務事業評価による見直しとコスト削減

十六年度から全事業を対象に事務事業評価を導入します。事務事業の成果の度合いに基づきその有効性、効率性、優先性を検証しながら、事務事業の適切な選択と重点配分を行います。また、単に削減のみに力をおくのではなく、振興計画に掲げる重点戦略のほか、定住促進など緊急的なニーズに 대응していきます。また、環境マネージメントシステムに基づき日常業務の中での経費節

減を徹底します。

#### ● 負担金・補助金の見直し

- ① 市民ニーズのバランスを見極め、その役割や効果を精査し、廃止や統合も視野に入れた見直しを行います。

- ② 最上広域分担金の節減を図るため、構成町村と協力し、共同処理事務事業の見直しや「ふるさと市町村圏基金」の活用による負担額の平準化を図ります。

#### ● 福祉関係事業費の見直し

国の社会保障制度改革により、福祉サービスの一部は措置制度から契約制度に転換され、利用者負担についても、無料から有料へ、一律定額負担から応能応益負担へとその枠組みが変わってきています。高齢化が進み、要介護者・要保護者が増え続ける中で、これからの財政状況では、行政の責任で行うべき要介護者・要保護者に対する基本的な施策を優先し、財源を集中していくことが必要です。このような状況を踏まえ、次の視点で見直しを行います。

- ① 国県の補助基準を上回る福祉サービスの見直し
  - ② 国県の基準に従った所得制限の設定
- 外部団体との関係の見直し  
市の外部団体や関連団体が、市に依存しない、自主的・自立的な経

# シリーズ 行財政改革

財政再建計画の詳しい内容は、市のホームページでも見ることができます。

◎詳しくは、財政課財政運営室へ。☎内線231・232

● **投資的経費の抑制**  
緊急に実施しなければならぬ事業を除き、投資的事業の休止・凍結、事業費の圧縮、事業内容の精査、実施期間の見直しを行います。

● **特別会計繰出金の抑制**

一般会計の負担(繰り出し)が増えないよう経営改善を行います。

● **市債残高の抑制**

再建期間中は、普通建設事業費を縮減することで新規発行額は減少します。将来的には、市債残高が標準財政規模程度(百億円未満)になるよう抑制に努めます。

● **入札制度の改善**

制度の透明性、公平性、競争性を目指し改善に努めます。

● **その他経費の抑制**

維持補修費や投資・出資・貸付金などについても抑制していきます。

● **その他、さまざまな方法で負担の公平化・平準化に努めます。**

## 2. 歳入確保対策

歳出の削減だけでは財政再建はできません。自主財源の確保に向けて最大限の取り組みを行います。

● **受益者負担の原則に基づく手数料、使用料の適正化**

長年見直されてこなかった手数料

料、使用料については、社会情勢に照らし、原価計算や受益者負担の原則に基づき適正化を図ります。

① 下水道等使用料の見直し

一般会計からの繰出を抑え、下水道財政基盤を確立するため、下水道使用料、農業集落排水処理施設使用料の改定を行います。

② その他手数料・使用料の見直し

長年見直されず、県内他市や類似団体、近隣の類似施設と比較して著しく低く、大幅に原価割れしている手数料などを見直します。

③ 施設使用料の減免基準の見直し

相当額を減免している運動施設や文化施設などの公共施設の使用料について、受益者負担の原則に沿って減免基準の見直しを行います。

④ 無料サービスの見直し

受益者を特定できないサービスや社会全体で負担すべきものを除き、「受益者負担の原則」によりサービス提供を行うことが、市民全体の負担の公平につながります。サービスを利用しない市民に負担を求めないため、これまでの無料サービスについて有料化に向けた見直しを行います。

⑤ 保育料の見直し

市の保育料は、料金体系全体と

しては国の基準を大きく下回っています。再建期間内に基準に近づけるよう見直しを行います。

⑥ 国民健康保険税の見直し

高齢化の進展により医療費が伸び続けているため、十五年度から毎年、保険税率を改定してきました。負担の公平と財政基盤の確立のため、今後も引き続き保険税率の見直しを行います。

⑦ 市税等の収納率の向上

市税、市営住宅の家賃、保育所入所負担金などの未収金の収納対策を強化します。

⑧ 国民健康保険税の納付期別を増やします。

市税、その他収入の口座振替での納付を推進します。

⑨ 遊休市有地の有効活用

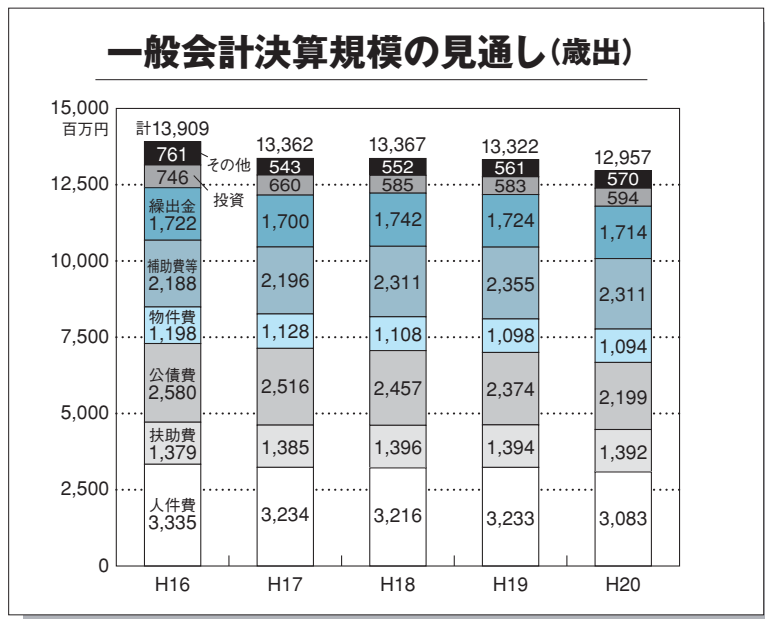
現時点で行政目的としての活用が見込めない土地の処分を進めます。また現在、有償貸付けを行って

いる土地も売払いを進めます。

● **基金の有効活用**

一時借入金について、基金を活用しながら、利子負担の軽減を図ります。当初の設置目的が達成不能、または、効果が薄い基金は、整理統合します。

一般会計決算規模の見通し(歳出)



● **基金の有効活用**

一時借入金について、基金を活用しながら、利子負担の軽減を図ります。当初の設置目的が達成不能、または、効果が薄い基金は、整理統合します。

● **財政調整基金等基金に可能な限り積立を行います。**

● **地方財源が制度的に確保されるよう国に働きかけます。**

● **その他、あらゆる方法で財源の確保に努めます。**

# 新庄市・舟形町合併協議会、解散。



七月二十一日、最後となる第七回新庄市・舟形町合併協議会が開かれました。

経過報告では、今年二月以降の舟形町長選挙、舟形町住民投票、市町両議会での議決、合併協議会廃止に関する市町の協議など、一連の経過が事務局より報告されました。

続いて、十五年度決算と十六年度の専決予算が承認され、七月三十一日をもって、新庄市・舟形町合併協議会を廃止することが確認されました。

## ■合併協議会での 新庄市長あいさつ

市町が一緒になってやっていくという大きな期待をかけた時期がありました。しかし、住民投票において、舟形町の大方の方々が合併には反対という意志表示をされましたので、これ以上進めることは無理と判断し、両市町の議会においても廃止の議決をいただいたこと

ろであります。

昨年の八月から約一年近くの間、いろいろな議題について協議・調整を行ってきました。約千項目以上の事務事業を、市町の担当職員・分科会・専門部会・幹事会、そして協議会において相当なエネルギーをもって行った協議は、広い視野からこれからの諸計画づくりに生かすことにより、決して無駄にはなりません。

当面、この新庄・最上での合併はないわけですが、これからは、各市町村が、あるときは自治体間・地域間競争を行い、またあるときは



は協力はしながら、それぞれの立場で地域づくりに励んでいくことになりま

一つの市町村が力をつけることによって新庄・最上全体が底上げできると考えます。

もちろん我々新庄市は、全力をあげて将来に向けた地域づくりに努力していく所存ですので、今後ともご指導ご協力をお願い申し上げます。

## ■舟形町長あいさつ

舟形町におきましては、議会議員全員の要望によりまして、この六月六日、住民投票を実施いたしました。その結果、舟形町は当面、自立の道を歩むことにいたしました。

これからの舟形町のまちづくりにおきましても、合併に向け協議されてきた考え方とかいろいろなものをお互にする事なく生かしながら、これからまちづくりをやっていきたいと考えております。今後とも皆さんのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 平和都市宣言旗掲揚式

市は、平和の輪が大きく広がることを願い、昭和59年3月に平和都市宣言を行いました。今年も、平和都市宣言旗の掲揚式を開催しますので、多くの市民の皆さんのご参加をお願いします。

- とき 8月15日(日)午前11時40分～12時5分
  - ところ 市役所前駐車場
  - 内容 2004年版新庄市平和都市宣言旗掲揚、全国戦没者原爆犠牲者追悼、世界恒久平和祈念の黙祷
  - 主催 新庄市平和都市宣言推進会議
- ※正午の黙祷のとき、市役所のサイレンが鳴ります。



平和都市宣言旗「生命樹」

新庄市平和都市宣言を象徴する旗。青空に力強く伸びる大樹と生きることの尊さを表現。昭和59年5月26日から掲揚。

## NHK総合テレビで県内生放送 やまがた環境フォーラム

in 新庄

昨年の「やまがた環境フェスティバルin新庄」に続き、県内の環境をめぐる現状と課題、将来へのビジョンを考える「やまがた環境フォーラムin新庄」を開催します。

- とき 8月24日(火)～26日(木)
- ところ ゆめりあ花と緑の交流広場
- 内容 ステージショー「やまがた環境の達人大集合」/8月24日午後1時5分～午後1時59分(県内生放送、9月3日午後8時～8時43分再放送)  
環境インフォメーション展/8月24日～26日午前8時30分～午後9時(26日は午後6時まで)



▲昨年のやまがた環境フェスティバル

◎詳しくは、企画調整課企画政策室へ。☎内線242

## なんでもQ&A

**Q** 先月号の広報で「新庄21地域スポーツクラブ」の記事を読んで参加してみたいと思いました。どんな種目がありますか。

**A** 皆さんのライフスタイルに合わせ、3つのコースから選ぶことができます。

**健康コース** 健康が気になる人、初心者でも安心(活動時間＝日中/年会費4,000円) ▶ ウォーキング、軽スポーツ(ダーツ、キンボール、ソフトバレーボール、ターゲットバードゴルフ)、水中ウォーキング、グラウンドゴルフ、ペタンク、ジョギング、バドミントン、ソフトテニス、スキー、ラージボール卓球

**貯筋コース** 少し筋力強化を意識したコース(活動時間＝夜間中心/年会費4,000円) ▶ 健康コースにマシン・トレーニングによる運動をプラス

**親子ふれあいコース** 小学3年以上(活動時間＝屋内のみ夜間/年会費1人2,500円) ▶ 軽スポーツ、水泳、バドミントン、ソフトテニス、スキー、スノーボード

※すべてのコースに参加することもできます(一部の種目は今年度分終了しています)。

◎詳しくは、新庄21地域スポーツクラブ事務局(市体育館)へ。☎22-0681ファクス22-0691

## 健康メモ

### 暑い夏をすこやかに

夏は、食欲がわかない、疲れがとれないなど、暑さや冷房のかけ過ぎで体調を崩しやすい時期です。疲れは、疲労物質である乳酸が体内に増えることが原因の1つ。疲労回復のためには、体の新陳代謝を促すクエン酸やビタミンB1が必要です。クエン酸を多く含む酢や梅干・果物などはとても有効です。また、夏野菜を使った酢の物やサラダなど、酢を上手に活用しましょう。

また、胃腸が弱っているときは、消化の良いものが一番。基本的には繊維や脂肪が少ないものを食べ、味の濃いものや刺激の強いもの、熱過ぎる・冷た過ぎるものは控えましょう。調理法としては、煮物や蒸し物が良く、野菜の下ごしらえでは皮を厚くむくのがポイントです。

#### 【胃腸にやさしい食べ物】

- 穀類(おかゆ、雑炊、軟らかいご飯、軟らかいうどん)
- 乳製品(ヨーグルト、クリームスープ)
- 肉・魚介類(鶏のささ身、白身魚、半熟卵、卵とじ、茶碗蒸)
- 大豆食品(納豆、豆腐、湯葉)
- 野菜・果物(ニンジン、カボチャ、大根、カブ、ジャガ芋、里芋、山芋、バナナ、リンゴ)
- 水分補給(番茶、麦茶、薄い紅茶)

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516



# 御家老の江戸だより

## 我らが新庄中学校！

◆新庄藩江戸家老 佐藤満寿哉さん  
(元テレビディレクター)

去る七月上旬、昭和二十七年度卒新庄中学校第五回生の同期会が天童温泉で開かれた。もう五十年以上も前に机を並べた仲間たちとの同期会だ。なぜかこの会は休みなく続き今年も十二回目、出席者は八十人を超えた。

当時のクラスは、AからHまでの八クラスで一組六十人ほどだった。合計五百人弱である。教室が足りなく二部授業もやったし、時には教室に机を倍も入れたので通路がななく机の上を歩いて自席へ渡った。思春期の僕たちは、あの頃女子生徒と話をするとささえも恥ずかしかつた。今考えると泣けてくる話ではあった。こんな状態の中学時代だったのにどうして皆今も、いそいそうれしげ



に集まるのだらうか。物はなかつたが心は通じていたといふこともあるだらう。同時

代を過ごした気安さもあるだろう。でも、先生も若く熱意にあふれ、新しい日本を作る意欲にあふれていたことを生徒たちも皆、感じていたのだらう。よく怒られたし、ゲンコもあつた。そんなのは当たり前と思つてもいい。

そして、怖かつた先生も、今は我々と並ぶとほとんど同じ年にさえ見えるのだ。自分たちの子どものごとより、孫の話に夢中になつてゐる女性軍たちの表情の何と若々しく素敵なことよ。「?ちゃん、まだまだイケます」と声もかけたくなるというものだ。男性軍のはしやぎようも素晴らしい。全然歌い足りずに宴の終わつた後も巷のカラオケで男の命をかけるとは。

校庭の桜の木で、今もセミは声高く夏を謳歌しているのだらうか。指首野川には今もカジカやアユはいるのだらうか。あの少女とかくれんぼをした路地はあの時のまま残つてゐるのだらうか。

僕たちは二年後の再会を固く約し「新庄」に満足して家路についた。同期生に「幸多かれ」と乾杯！必ず次回もきつとだよ！

## いきいき 新庄人

### 国際交流のかけ橋に

佐藤敏幸さん(下金沢町)

「中学校の社会科の教師として、実体験をもとに子どもたちに教えたいですね」と語る佐藤さんは、青年海外協力隊員として7月から2年間、中南米の国エクアドルで小学生に音楽と体育を教えるため現地に赴任しました。出発前にお話をうかがいました。

「わたしは、自分自身も常に成長できるような仕事がしたいと思い、教師になりました。教師になる前は、高校から続けている吹奏楽を生かした仕事がしたいと思っていました。当時、国賓が来ても国家を演奏できない国があることを知り、将来海外協力隊員としてそのような国で音楽を教えることができたらいいなと思っていました。教師になって9年目、そろそろ自分が学生時代に思っていたことを試してみてもいい時期だと思い応募しました。

エクアドルでは、日常会話はスペイン語です。1日も早くスペイン語をマスターし、子どもたちと楽しく会話することが今から楽しみです。現地では、国の指導要領がありませんので、日本式の教育方法を融合させ、その国・地域に合った方法を見つけたいと思います。また、わたしの任

地は、過去に日本人の協力隊員が行ったことがないので、現地の子どもたちにとっては、わたしが初めて見る日本人かもしれません。任務は子どもたちに音楽と体育を教えることですが、休日には得意のトランペットを使って慰問演奏をして、現地の人たちと大いに交流したいと思っています。

これからの2年間、すべての時間を現地の人のために使い、与えられた仕事に全力を傾けますが、それ以外にどれだけのことができるかがわたしたちに期待されています。エクアドルの文化をできるだけ吸収し、帰国後、国際交流のかけ橋になれたらと思っています。

新庄の子どもたちには、いろいろなものを見る意欲や夢を持って自由に生きることなど、身をもって生き方を示して、外国も身近かだと感じてほしいですね。長い一生のうちたった2年間ですが、がんばってきます」佐藤さんには、探究心と強い信念が感じられました。



▲力強く抱負を語る佐藤さん

# 聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲ごみ減量のためトレーリサイクル施設が稼働(7月15日/友愛園)



▲100円商店街でストリートライブ & パフォーマンス(7月24日/南本町商店街)



▲長岡雪氷防災研究所新庄支所長が講演した市民雪セミナー(7月3日/雪の里情報館)



▲最上支部大会でも優勝した泉田消防団(7月3日/陸上競技場駐車場)



▲織姫まつりとSLコンサート(7月15日/JR新庄保線技術センター駐車場)



▲遊歩道に木片チップをまいた「陣峰森づくり体験」(7月3日/陣峰市民の森)

## トレーリサイクル稼働

友愛園第3作業室(仁間)でプラスチックリサイクル施設の稼働式が行われました。リサイクルの新たな方式として、家庭から出る食品トレーをスーパーで回収し、たんぼぼ作業所が運搬・選別、友愛園がペレット化、それをヨコタ東北が購入して新しいトレーを製造するシステム。当面、友愛園はヨコタ東北の製品端材をペレット化します。市民・企業・行政の協働による地域循環型社会への新たな一歩です。

## 街を楽しく元気に

各店先に限定100円商品を並べた「100円商店街」が南本町商店街で開催され、多くの市民でにぎわいました。また、2日目には、「ストリートライブ & パフォーマンスフェスタ」も開催され、ジャズやフォークなどの音楽が演奏される中、ダンスや自転車のパフォーマンスが繰り広げられ、訪れた人を楽しませました。街に活気を呼び戻そうと「鴨源夏まつり」として、南本町商店街とNPO-AMPが企画運営したものです。

## 新庄市消防操法大会

消防操法技術の向上と消防団員の志気高揚を図るため消防操法大会を開催しました。団員たちは4人一組で迅速かつ正確に小型ポンプを操作。全17分団が日ごろの訓練の成果を競いました。

優勝/第13分団第1部第1班(泉田)  
準優勝/第12分団第1部第1班(角沢)  
優秀賞/第1分団第1部第1班(上茶屋町)第17分団第3部第1班(福宮)第10分団第2部第1班(休場)

## 陣峰森づくり体験

森に親しんでもらおうと市が開催した「陣峰森づくり体験」に親子連れなど約70人が参加。遊歩道の下刈りなどの森づくり体験や、トレッキング、木工クラフト体験などを楽しみました。



## SLもがみ号

昨年、31年ぶりに蒸気機関車(SL)が走った陸羽西線・新庄～酒田間を今年もSLが力走しました。これは、7月から9月まで開催中の「おいしい山形デスティネーションキャンペーン」の一環として企画されたもの。大雨で2日間は運休となりましたが、3日目は懐かしい姿を見せ、集まった多くの人々を喜ばせました。

## 新庄まつりをPR

「おいしい山形デスティネーションキャンペーン」が仙台駅で行われ、来年250年を迎える新庄まつりや民話など新庄の魅力をアピールしました。囃子は鳥越若連と松本若連が、民話語りは新庄民話の会の渡部豊子さんと鈴木敏子さんが担当し、大勢の来場者や乗降客の熱い注目を浴びました。

## 栄光をたたえて

### ■最上地区中学校総合体育大会

【相撲】団体1部①明倫③日新2部②日新／個人1部①加藤慧(八向)③齋藤圭志(明倫)3部①笹貴裕(日新)③浅沼裕平(日新)金藤拓馬(日新)【陸上】男子／3年100m②高橋亮(萩野)③早坂裕也(萩野)共通400m③布川大地(新庄)1年1500m②田中亮(新庄)共通走高跳②三浦拓弥(萩野)共通リレー③日新(矢部司、阿部健太郎、高橋央、伊藤謙)女子／団体②日新／個人1年100m①芦野智恵(日新)2年100m②小森千奈津(日新)③齊藤麻里(日新)3年100m③井上琴美(八向)共通200m①小森千奈津(日新)②齊藤麻里(日新)共通800m③後藤あや子(日新)共通1500m③外崎恵美(日新)共通走高跳①濱田智代(新庄)共通走幅跳②成澤志歩(日新)共通砲丸投①井上琴美(八向)③奥山沙知(萩野)低学年リレー①日新(芦野智恵、小野史葉、下山留未、齊藤麻里)③明倫(佐藤志乃、早坂真耶、阿部早希子、渡辺魅久)共通リレー①日新(今田仁美、齋藤恵梨香、伊藤奈々、小森千奈津)③八向(越後菖香、齊藤なつき、佐藤めぐみ、井上琴美)



▲SLもがみ号(7月19日／新庄～酒田間)



▲来年の250年祭に向け新庄まつりをPR(7月24日～25日／仙台駅)



▲昆虫について学んだ「ちびっこ寺子屋」(7月24日／エコロジーガーデン)



▲第7回チェレンコ祭り(7月31日／ゆめりあ)



▲語学指導員のスティーブン・ブラウニングさんが離任あいさつ(7月22日／市役所)



▲約600人が参加した「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会(7月15日／玉姫殿)

# ら・せ

イベントや行政案内など  
まちの情報を紹介するページです

8月は「電気使用安全月間」です  
夏は、肌の露出や発汗により電気が流れやすくなります。感電事故に気をつけましょう。  
◎東北電気保安協会新庄事業所 ☎23-4864

## 募集

### バイオマス体験活動

- ▼対象 市内の小中学生(保護者参加も可) ▼とき 8月21日(土) 午前9時～正午
- ▼ところ エコロジーガーデン
- ▼内容 生ごみを生かした野菜作り ▼定員 30人程度
- ▼申し込み 8月18日(水)まで
- 問 最上教育会館 ☎24-33025

### 家族介護者交流 激励支援事業

- ▼日時 日帰りバス旅行でリフレッシュしませんか。
- ▼対象 要介護度4・5の家族を在宅介護している人
- ▼とき 9月8日(水) 午前9時

- ▼午後4時 ▼内容 庭園散策と天童温泉 ▼参加費 無料
- ▼定員 10人
- ▼申し込み 8月20日(金)まで
- 問 福祉事務所高齢障害支援室 ☎内線552・553

### ふるさと体験塾その1 隠明寺風つくりに挑戦!

- ▼対象 市内在住の小中学生の親子(先着15組) ▼とき 9月11日(土) 午前9時～午後4時
- ▼ところ ふるさと歴史センター
- ▼指導 佐々木新一郎氏(隠明寺風保存会) ▼材料代 5000円
- ▼申し込み 8月31日(火)まで
- 問 ふるさと歴史センター ☎22-2188

### 新庄納涼将棋大会

- ▼とき 8月22日(日) 午前9時30分受付開始

### 第39回山形県 発明くふう展作品

- ▼対象 小・中・高校生、教職員、個人・中小企業の従業員
- ▼作品 1人または共同で発明くふうしたもの、縦・横・高さ1メートル・重さ20キロ以内
- ▼申し込み 9月27日(月)まで
- ▼搬入 10月12日(火) 午後1時～3時
- ▼くふう展 10月15日(金)～17日(日) / 酒田市営体育館
- 問 発明協会山形県支部 ☎023-644-3316

### まつり期間中のごみ収集

—8月26日(木)—  
新庄まつり期間中は早朝にごみを収集します。指定日にあたる町内の人は、必ず26日の午前1時までにごみを出してください。  
◎詳しくは、環境課環境保全室へ。☎内線431

### 「産直まゆの郷」 まゆゆの夏まつり

○とき 8月22日(日)～25日(水) 午前9時30分～午後6時  
○内容 トルコぎぎょう・アスターなどの花・夏野菜・果物・お祭り用農産物の販売、食べ物屋台(22日のみ)  
※22日は先着200人に漬物をプレゼント  
◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課農林振興室 ☎内線261へ。

## 新庄まつりの 山車展示

新庄まつりの最終日に9台(予定)の山車展示と囃子演奏を行います。  
○とき 8月26日(木) 午後1時～5時  
○ところ 駅前通り、大町(馬喰町)通り



### 新庄まつり観覧席(アビエス)発売中

8月24日(火) 宵まつり	全席	1,000円
	※残りわずかです	
8月25日(水) 本まつり	スタンド席	1,000円
	スタンド以外	500円

### 新庄まつり観覧でのお願い

駅前広場周辺で観覧する場合は、店舗入口や歩行者の妨げにならないようお願いいたします。また、ガムテープを使用した観覧場所の確保は禁止しますのでご協力ください。  
◎詳しくは、新庄まつり委員会(新庄商工会議所内)へ。 ☎22-6855

### 東北公益文科大学 聴講生(後期)

- ▼対象 高校卒業程度
- ▼科目 16科目から選択(最大12科目) ▼聴講料 1科目2万円 / 単位認定を受ける場合は1科目4万円(別途検定料と入学金が必要) ▼出願期間 8月16日(月)～9月3日(金)まで
- 問 東北公益文科大学教務課 ☎0234-41-1118

### 最上地区危険物 安全協会から

- ▼危険物取扱者保安講習会
- ▼とき 給油取扱所 9月8日(水) 午前9時、一般講習 午後1時30分 ▼ところ 市民文化会館 ▼受付 8月12日(木)まで ▼受講料 4,700円
- ▼第3回危険物取扱者試験
- ▼とき 10月9日(土) 午前9時
- ▼集合 ▼ところ 新庄神室産業

## お知らせ

### 山形空港フェスティバル 2004

- ▼とき 9月18日(土) 午前9時15分～午後3時 ▼内容 親子管制塔見学(9月7日まで申

- ▼産直まゆの郷 創作かかしコンテスト
- ▼作品製作 9月1日(水)～5日(日) ▼ところ 産直まゆの郷
- ▼展示 9月6日(月)～12日(日)
- ▼賞 最優秀賞 米1俵ほか
- ▼申し込み 8月25日(水)まで
- 問 産直まゆの郷 ☎23-5007 農林課農林振興室 ☎内線261



オペラ「ヘンゼルとグレーテル」

○8月27日(金)午後3時 ○真室川町中央公民館  
○前売券/一般2,000円・高校生以下1,000円  
◎真室川町教育委員会 ☎62-2305

# 8月のお・知

催し  
など

第11回 市民健康福祉まつり

●とき 9月18日(土)午前11時～午後3時  
●ところ 市民プラザ 大ホールなど  
※詳細は後日お知らせします。  
◎詳しくは、健康課健康推進室 ☎内線515、福祉事務所高齢障害支援室 ☎内線550へ。

第7回 わくわく新庄フェスティバル

●とき 9月4日(土)午前9時～午後9時  
5日(日)午前9時～午後4時  
●ところ わくわく新庄(日新小向かい)  
●内容 絵画・書道・絵手紙などの作品展示、歌と踊りの集い(4日午後6時)など  
◎詳しくは、わくわく新庄へ。 ☎23-0197

第5回 創作和紙人形展

●とき 9月4日(土)～6日(月)  
午前9時30分～午後5時  
●ところ 市民プラザ ギャラリー  
◎詳しくは、新庄葵の会・大江へ。  
☎023-653-0168

沼澤淑音ピアノリサイタル

～17才のエチュード～  
●とき 9月18日(土)午後6時30分開演  
●ところ 市民文化会館 小ホール  
●前売券 一般2,000円・学生1,500円  
◎詳しくは、市民文化会館へ。 ☎22-7029

小学校就学時健康診断

とき	ところ	入学予定校
9月1日(水)	新庄小	新庄小・山屋小
9月3日(金)	泉田小	泉田小・萩野小・昭和小
9月8日(水)	升形小	本合海小・升形小
9月10日(金)	日新小	日新小・角沢小
9月15日(水)	沼田小	沼田小・北辰小

●対象 来春小学校に入学する幼児  
●受付時間 いずれも午後1時から  
◎案内状を保護者あてに郵送しましたが、届いていない場合はご連絡ください。詳しくは、教育委員会学校教育課へ。  
☎内線444

▼対象 住宅の増改築、バリアフリー化、水まわり、外壁、屋根、木造車庫の増改築、耐震改修・補強 ▼要件 県内に居

問 農業委員会 ☎内線256  
住宅リフォーム資金  
低利融資

▼期間 9月1日(水)～30日(木)  
午前8時30分～午後5時(平日のみ)  
▼小作地の所有状況を確認することができま

問 山形県山形空港事務所 ☎0237-48-1313  
小作地の所有状況の縦覧

し込みが必要で。応募多数の場合は抽選)、飛行見学、防災ヘリコプターなどの展示

▼物件 宅地など約20件  
▼閲覧 9月2日(木)まで  
不動産の競売

問 山形森林管理署最上支署 ☎62-2122  
山形森林管理署最上支署

▼物件 宅地/新庄市大字萩野字大以良川1151-4(389・83㎡)、建物/同地(71・21㎡) ▼入札 8月30日(月)午後2時まで

問 山形県土木部建築住宅課 ☎023-630-2641  
返済期間 10年以内  
山形県土木部建築住宅課

注し木造改築を行う場合  
利率 年2.5%(固定金利)  
融資限度額 500万円

▼開設日 毎週火・土曜日午後1時～7時  
▼内容 ボランティア相談員による電話相談(相談無料)  
問 被害者支援センターやまがた ☎023-642-7830

問 新庄警察署 ☎22-0110  
被害者支援センター  
やまがた

▼とき 8月31日(火)までの平日  
午前9時～午後4時  
▼ところ 新庄警察署  
※捜索の手がかりになるものを持参してください。

問 山形地方裁判所新庄支部 ☎22-0265  
家出人・行方不明者をさがす相談所開設中

▼入札期間 8月26日(木)～9月2日(木) ▼開札 9月9日(木)  
山形地方裁判所新庄支部

読み終えた本を図書館へ

今年も図書館まつりを11月6日(土)・7日(日)に開催します。恒例となった本のリサイクルフェアも開設しますので、読み終えていなくなった本がありましたら、図書館にお持ちください。  
ただし、雑誌やあまり汚れた本はお断りする場合があります。また、提供された本の中から、図書館の蔵書とさせていただきます。集まった本は、図書館まつりのときに来館者が1人5冊まで自由に持ち帰ることができます。本を提供くださった方には、優先入場券(6日午前中のみ有効)を差し上げます。ご協力をお願いします。  
○受付期間 8月10日(火)～10月22日(金)  
○受付場所 市立図書館  
◎詳しくは、市立図書館へ。  
☎22-2189

国民健康保険被保険者証が9月1日から新しくなります

新しい保険証を8月19日(木)に発送します。届かないとき、内容に誤りがあるときはご連絡ください。古い保険証は、9月1日以降、世帯主の責任で確実に処分してください。  
◎詳しくは、健康課国保医療室へ。  
☎内線511・512・517

国民年金保険料の免除

前年の所得が一定基準以下で、収入の減少や失業などで保険料を納めることが困難になった場合、申請により保険料の全額または半額を免除する制度があります。申請は毎年必要です。  
◎詳しくは、社会保険事務所 ☎22-2050、市民課国民年金担当 ☎内線134へ。



# 「豊かな心をはぐくむ」

——新しい時代への人づくり——

今回は、民話語りや動物の飼育活動を通して、子どもたちのやる気やボランティア精神をはぐくんでいる学校の取り組みについて紹介します。

## 本気を育む「民話語り」

ある日、二年生のK君に呼び止められました。「僕の詩の本や図書館にある本の中から、気に入った文章を暗唱するので、いつか聞いて下さい」とのこと。二つ返事で引き受けました。

数日後、彼は、仲間を連れてやってきました。声の大きさや間の取り方、抑揚もすごく良い。仲間の一人が、うれしそうに「今日のK君ね、今までの中で一番うまくできたよ。がんばったね」とほめました。ほめたR君と相づちを打つ応援団の聞き上手をほめると、気に入った文章をたくさん暗唱して全校生の前でも休み時間に聞かせたいとのことでした。こんな「やる気」と「本気」を真綿で大切に包みたいと思つ一瞬でした。

これには、土台があります。本校では、二年前から「民話語り」に取り組んでいます。毎週、民話語りのボランティアをしてくださって

いる新庄民話の会の渡部さんから直接教わる児童もいます。おかげで、全児童が二つから七つほどの「民話語り」ができるようになりました。その努力の成果を家族や友達の前で語るだけではなく、神室荘などのお年寄りにも聞いていただくことにしました。

予想以上の手応えに、子どもたちは自発的に「民話語り」をするようにまでなっています。

## 心を豊かにする「ボランティア」

六年生の女子三人が、時間を見つけてはウサギ小屋に出入りして、えさを与えたり掃除をしたりする日が続きました。清掃開始の時刻に校舎内に戻ってきた彼女らにたずねると、気がかりなので観察ついでに時間を見つけて世話しているとのことでした。

論語の中に「衣食足りて礼節を知る」というのがありますが、精神的に豊かになれば、互いに傷つけ



▲文化祭での民話語り(昭和小)

合うこともなくなると考えるのは短絡的でしょうか。

心が豊かになった証しの一つとしてボランティア活動があります。最終的には、困っている人に手を差し伸べ、互いに助け合つて生きていくこととする姿を求めたいものです。できれば「自ら」という姿が理想的ですが、本校のボランティア活動では、そこまでは求めてはいません。

日常生活の中で、ふと気づいた事を立ち止まって考え、見返りを期待しない無償の行為をさり気なくできる人間に育つてほしい。そのためには、心を豊かにする環境作りが大人の役目です。その一つとして生き物を育てる活動を大切にしたいものです。また、人との交流も欠かせません。子どもたちが繰り広げる日々の心の交流という過程を大切にしながら歩んでほしいと願っています。(昭和小学校)

## 地名伝説

### 家中と町人町を

#### 結ぶ出入り口

鼠穴・御馬出口など

江戸時代、新庄は城下町であったので、武家の住む町と町人の住む町が画然と区別されていた。旧羽州街道(旧国道十三号)沿いは町人町で、そのほぼ西側(お城側)は、家中(武家町)であった。

士農工商という身分差が歴然としていた時代であるから、もちろん家中には原則的に新庄藩の武士以外は入れず、入るには許可が必要であった。そのため、家中と町人町を結ぶ出入り口は数カ所に定められており、それも夜間には閉じられた。ただ、「鼠穴口」「鼠丁口」だけは黙認され、そこを通る人は鼠のようにこそこそと通つたので、その名がついたのだという。

横町の新庄大手町郵便局脇の南側に伸びる小路の周辺を「鼠町」と呼ぶのは、この「鼠穴口」からきたものと思われるが、江戸時代の絵図や家並み図には、北本町の旧こびあ脇から労働金庫方面に向かうところに「鼠穴口」「鼠丁口」と記してあり、横町には、「南学院口」「馬場口」として「南学院」とは、もとの横町公園の場所にあった修験のこ

～図書館はオアシス～

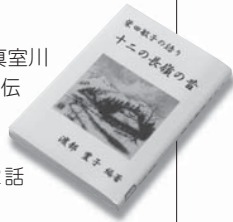
# BOOKS NOW!

今月のおすすめ

## 『柴田敏子の語り 十二の長嶺の昔』

渡部豊子 編著

柴田敏子さんの生家である真室川町名子村の小野弥六家に語り伝えられた昔話を、新庄民話の会・渡部豊子さんが5年の月日をかけて聴き取り編集した62話が収録されています。



### ● 今月のテーマ展示 ●

#### 『平和都市宣言』

新庄市が「平和都市宣言」をしてから20年。地球上には争いが絶えませんが、あらためて世界の平和を願い関連図書を展示します。

### 新着図書

- ◆ICO—霧の城— ……宮部みゆき
- ◆Q & A ……恩田 陸
- ◆乱歩賞作家黒の謎 ……嶋海 章 他
- ◆国民生活白書 平成16年版 ……内閣府
- ◆思いわずらうことなく愉しく生きよ ……江國 香織
- ◆ヘーメラーの千里眼 ……松岡 圭祐
- ◆しずり雪 ……安住 洋子
- ◆私の牛がハンバーガーになるまで ……ピーター・ローベンハイム
- ◆枕草子REMIK ……酒井 順子
- ◆小説渋沢栄一(上・下) ……津本 陽
- ◆18年目の奇跡 ……D.L.スミス
- ◆ヤフーオークション必勝マニュアル ……工 学 社
- ◆降臨の群れ ……船戸 与一
- ◆夜は満ちる ……小池真理子
- ◆新聞経営の先人 ……春原 昭彦
- ◆桜花(さくら)を見た ……宇江佐真理
- ◆コイン・トス ……幸田 真音
- ◆パンドラ・アイランド ……大沢 在昌
- ◆秋の花火 ……篠田 節子
- ◆ノリーのおわらない物語 ……ニコルソン・ベイカー
- ◆父の目方 ……宮本 輝
- ◆ママ、いつまでもきれいできてね ……外浦 悦子
- ◆一葉の恋 ……田辺 聖子
- ◆ヨーグルくん ……なかじまみずず
- ◆20代のいま、やっておくべきお金のこと ……中村 芳子
- ◆世界のクワガタムシ・カブトムシ最新図鑑 一決定版— ……吉田 賢治
- ◆上京はしたけれど ……たかぎなおこ

## 本やおはなしは食べもの

～読み聞かせ養成講座～

六月から市民プラザで読み聞かせ養成講座を開催しています。新庄・最上地区でボランティアで実際に読み聞かせを行っている人や興味がある人など約百人が参加しています。

七月十七日は、四回シリーズの三回目。テーマにそった数冊の本を選び、本の一部分を読み、全体のあらすじを説明することで子どもたちに本を紹介するブックトークの方法を学びました。参加者からは、「メディア化された世の中で、よく考えないで犯罪に走ってしまう青少年が多く見受けられます。幼児期から読み聞かせをすることで、子ども

もたちの心を豊かにしたい」との声が聞かれました。

この講座は、読み聞かせのボランティア活動を行っている人やサークルから、読み聞かせについて学び活動に役立てたいとの要望を受けて、市立図書館とNPO法人「子育てネットワークバルボンさん」が協働事業として企画したものです。

「バルボンさん」は、「私たちにとって本やおはなしは食べものです。子どもの本は子どもの社会力だけでなく大人の社会力も豊かにしてくれます」と読み聞かせの大切さを説いています。これまでの講座では、読み聞

かせの意義から始まり、紙芝居・絵本の読み聞かせ、本の選び方の各講座が開かれ、多くの人が受講しました。最終回となる第四回は九月にテレビ局のアナウンサーを講師に迎え、読み聞かせをより効果的に実践するための発声方法を学びます。



▲大人気の読み聞かせ養成講座(7月17日/市民プラザ)

と)、西に伸びる小路が描かれている。「鼠町」の小路は、もう少し後の時代にできたか、あるいは、鼠穴口からの小路に通ずるのでそう呼んだものだろうか。

また、大町の西田五兵衛商店の脇から西側に向かう一方通行の小路のところは、藩主の馬がここから出入りしたので、「御馬出口(南口)」と呼ばれた。この周辺を「御馬出」と呼ぶのは、このためである。

このほか、一番大きな大手口(市民プラザ付近)、山口丁口(宮内町付近)、笹屋口(万場町の新国亭に入るところ。笹屋という酒屋があった)、鉄砲屋口(吉川町から神明町方面への道。角に今井という鉄砲鍛冶がいたのでこの名がついた)などがあった。(市史編さん室)

# かつろく～思い出の四季～

## かつか突き



待ちに待った夏休み。前から約束してた、かつか(かじか)突きにいく。

差指野川にもかつかはいるが、鮭川の方がたくさんいると聞いている。飛田、升形を通過して、戸沢村の名高橋に着く。土手の上には、昼飯のおにぎりとおやつを置く。目印には、手ぬぐいをかぶせておく。着物は着ていかないので、やっかいなし。

川は流れの急な、瀬のところ。石を静かに寄せてみる。ガラス箱の下に、頭の大きなかつかが、胸びれをゆつくり動かしている。魚杖を持ち直して、頭をねらう。ぐっと突き刺す。見事にしとめて上にあげると、かつかは口を大きくあけ、ひれをみなピンと伸ばしている。

これを腰の『かつこべ』に入れ、また魚杖を返して、二又の方で石をかき寄せる。時たま、石の下には魚もいるが、なかなか突けない。二時間も突くと、腰がいたくなる。呼びあつて川からあがり、土手に並んでおにぎりをかじると、これがうまい。

絵 三條正美、文 笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

## かむてん クイズ



さて問題です。新庄市が平和都市宣言を行ったのはいつでしょう。  
①昭和24年、②昭和59年、③平成元年 / はがき・ファクス・eメールに「①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙を読んだの感想など」を書いて、〒996-8501 新庄市企画調整課市民協働広報室あて、8月30日まで応募してください。  
ファクス 22-0989 / eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp



市民プールのアジサイ

7月号の正解は「②アジサイ」でした。広報7月号を読んだ感想から紹介します。「新庄市にはたくさんのアジサイがさいていて、色や花びらの形がちがうので、新庄のまちを通るのが大好きです。わたしの家の庭には、青いアジサイがさいています(小学6年生)」

8月号では、5人に図書券をプレゼントします。

## 表紙の写真

## 灯りに 願いを込めて ～升形川灯ろう流し～

「升形川に昔の清流をとり戻したい」と発足した「升形川に親しむ会」。毎年、開催してきた灯ろう流しも今年で11年目。南部保育所園児114人がさまざまな願いを込めた自作の灯ろう1800個を流し始めると、大絵灯ろうが照らす川面をゆったりと流れ、辺りは幻想的な雰囲気に包まれました。



## 6月末現在の新庄人

41,370人 (41,451人)

女 21,546人 (21,563人)

男 19,824人 (19,888人)

世帯数 13,508世帯 (13,354世帯)

### 6月の異動

出生 29人 ( 20人)

死亡 23人 ( 26人)

転入 62人 ( 91人)

転出 54人 ( 75人)

※ ( ) は1年前の住民基本台帳